



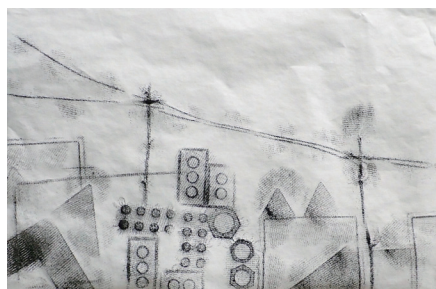
1



2



3



4



5

キッズスタジオ・プログラム

Kids Studio Programs

「子どもたちとともに、成長する美術館」として、子どもたちがアートに親しみ主体的に表現できる場を開いた。休日プログラム「ハンズオン・まるびい!」では開催中の各展覧会に沿ったテーマで造形表現に取り組んだ。コレクション展では「見ることの冒険」でのイザ・ゲンツケン作品にあわせて角柱型の人物像を制作し、「アジアの風景」ではザイ・クーニン作品を紹介しながらダンボールの帯をさまざまな姿に組んだ立体を吊り下げて飾った。また「アイ・チョー・クリスティン」展では大人を対象に作家と同じ画材であるオイルバーを用いた絵画制作を行った。平日の乳幼児連れ向けのプログラム「まるびい すくすくステーション」は午後3時まで拡大し、地域の子育て拠点の役割をより強くもたせた。

(木村 健)

In accord with its mission “to grow along with children,” the museum created a space for children to grow familiar with art and try expressing themselves on their own. Children attending the weekend and holiday “Hands On MARUBII!” program were given themes for art creation selected from exhibitions held at the Museum throughout the year. For the Collection exhibition, “Adventure in “Seeing,”” children created column-shape human figures inspired by Isa Genzken works, and for “Asian Landscapes,” they viewed a Zai Kuning work and assembled cardboard to create three-dimensional hanging objects. For the “Ay Tjoe Christine” exhibition, an adult workshop was held where participants tried making pictures using the oil bars employed by the artist. Then, the weekday schedule for the program “MARUBII SUKUSUKU Station” was newly expanded to 3 p.m. afternoons, and its role as a refreshing, fun place for fostering regional children’s growth was reinforced.

(KIMURA Takeshi)

1. 「ハンズオン・まるびい!」プレイルーム活動風景
「コレクション展 見ることの冒険」展とともに
「四角でそっくり!? □□□□さん」
2. 「ハンズオン・まるびい!」プレイルーム活動風景
「アイ・チョー・クリスティン 霊性と寓意」展とともに「ひっかき版画水族館」
3. 「ハンズオン・まるびい!」プレイルーム参加者作品
「起点としての80年代」とともに
「ダンボールでつくろう! わたしの○○」
4. 「ハンズオン・まるびい!」プレイルーム参加者作品
「チウ・ジージェ 書くことに生きる」とともに
「たたいて描こう! まるびい拓本ジテン」
5. 「すくすくステーション」わくわくタイム
「おはなしパネルシアター」活動風景

1. “Hands On MARUBII” playroom activity scene
For the “Collection Exhibition - Adventure in “Seeing,””
“Perfect Resemblance in a Square!? This is □□□□”
2. “Hands On MARUBII” playroom activity scene
For the “Ay Tjoe Christine: Spirituality and Allegory”
exhibition, “Scratch Picture Aquarium”
3. “Hands On MARUBII” playroom participant artworks
For the “Starting Points: Japanese Art of the ‘80s”
exhibition, “Let’s create using cardboard! My ○○”
4. “Hands On MARUBII” playroom participant artworks
For the “Qiu Zhijie Living Writing” exhibition,
“Pat and Draw! MARUBII Dictionary”
5. “SUKUSUKU Station” exciting time “Story Panel Theater”
activity scene

休日プログラム

「ハンズオン・まるびい!」

「アイ・チョー・クリスティン 霊性と寓意」展
関連ワークショップ
「画材に親しむ ～オイルバーで描く」
2018年8月5日(日)
進行：内呂博之、木村健(金沢21世紀美術館)
対象：高校生以上
料金：1500円(材料費)
参加：8名

平日プログラム

「まるびい・すくすくステーション」

「まるびい・すくすくステーション」
2018年4月3日(火)～2019年3月29日(金)
火曜日から金曜日(※夏季・冬季休暇中を除く)、
のべ160日間、10時～15時
対象：未就学児と保護者
料金：無料
参加：6,827名

まちなか工作部inまるびい vol.5

2018年8月25日(土)

対象：子どもから大人まで(保護者同伴で制作)

料金：無料(一部材料費必要)

参加：91名

共催：Fab Kanazawa

プレイルーム「かたちで遊ぼう!」

2018年4月1日(日)～2019年3月31日(日)の土日祝日、

のべ95日間、13時～16時

対象：子どもから大人まで(幼児は保護者同伴)

料金：無料

参加：7,017名

[造形コーナー]

4月～6月

「コレクション展 見ることの冒険」とともに

(イザ・ゲンツケン作品より)

「四角でそっくり!? □□□□さん」

7月～8月

「アイ・チョー・クリスティン 霊性と寓意」とともに

「ひっかき版画水族館(ドライポイント・アクアリウム)」

9月～10月「起点としての80年代」とともに

(日比野克彦、杉山知子作品より)

「ダンボールでつくろう! わたしの○○」

11月～12月

「チウ・ジージェ 書くことに生きる」とともに

「たたいて描こう! まるびい拓本ジテン」

1月～3月

「コレクション展 アジアの風景」とともに

(ザイ・クーニン作品より)

「つないで・まげて ○○雲」

3月～5月(予定)

「コレクション展 アジアの風景」とともに

(照屋勇賢作品より)

「型染めで描こう 赤・青・黄」